

経営比較分析表

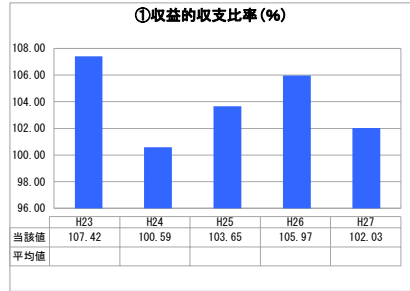
岐阜県 神戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	66.77	98.08	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,738	18.78	1,051.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,167	4.27	3,083.61

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



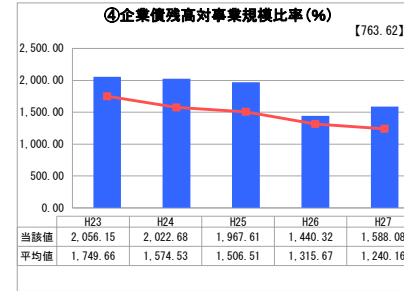
「単年度の収支」



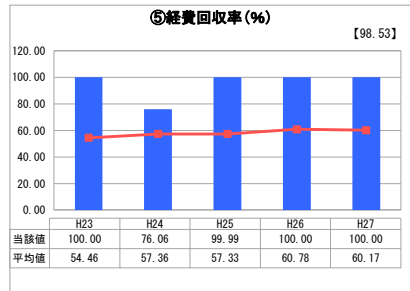
「累積欠損」



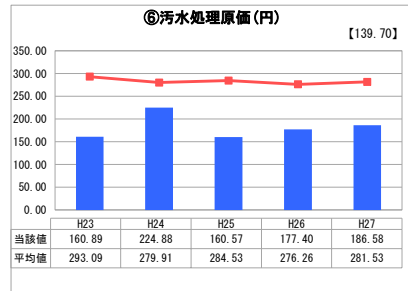
「支払能力」



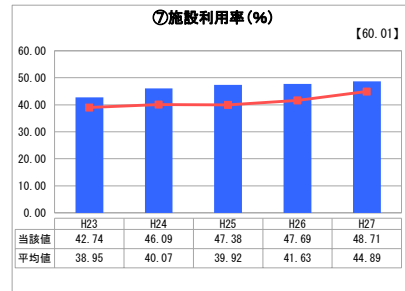
「債務残高」



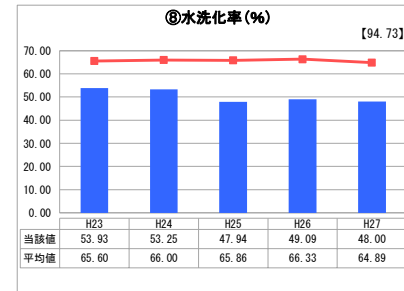
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

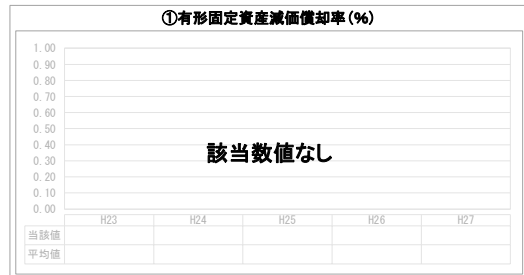


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

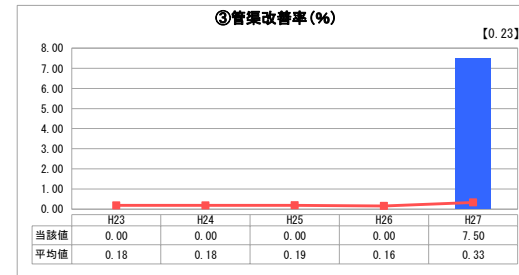
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の下水道事業は、平成13年8月31日に開始後約15年が経過し、平成37年度の概成を目指して面整備を精力的に進めている状況にあります。管渠整備ができて間もない区域が多く、また、合併浄化槽の整備が既に済んでおり、高齢者単身や高齢世帯が多いため水洗化工事に対して消極的となっていることから、水洗化率が50%前後と類似団体と比べても大きく下回っており、施設利用率も低くなっています。また、平成22から24年度にかけて終末処理場の増設を実施したため、事業規模に対する企業債残高の比率が高くなっています。現状では、施設が新しく修繕費が抑えられているため、汚水処理原価が低く抑えられています。また、平成44年度以降は、当初起債の償還完了となることもあり企業債残高は減少傾向となると考えています。今後の円滑な事業運営のために、着実な面整備の推進と水洗化率の向上が必要と考えています。

2. 老朽化の状況について

供用開始(平成19年3月31日)より9年経過(10年未満)であるため、現在のところ、施設に老朽化は生じていませんが、今後は、電気、機械設備について更新の必要性が生じることが想定されます。そのため、処理場施設について、平成25年度に策定した施設管理計画に基づき、設備毎に計画的な点検・修理などのメンテナンスを行うことで、長寿命化を図っており、7年後まで改築更新の必要がない状況となっています。

全体総括

本町の下水道事業は開始間もない状況で面整備の途上にあります。現在のところ、一般会計からの繰入や使用料収入を確保できていることから、経営環境としては健全なものと考えていますが、今後、水洗化率の向上を図り施設利用率を高める等の改善が求められるため、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定し、同計画に基づく経営基盤強化に取り組むこと等により、事業を安定的に継続することが必要であると考えています。また、将来的な施設の老朽化に備えて、適正な維持管理とともに合理的な改築更新を検討し、下水道施設の機能の維持と増進を図りながら、適正な経費を効果的に投資し、整備・管理・更新事業の一体的展開を実現させるアセットマネジメントの確立を目指していく必要があると考えています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。